

ひと&いま



ふるさと応援大使「鶴」^{つる}

鶴ヶ島市出身のスリーピースバンド「鶴」。3人は、西中学校の同級生です。平成30年9月から、ふるさと応援大使に任命しています。全国ツアーでは、「脚折雨乞」や市の名所を紹介してくれるほか、「鶴ヶ島ふるさと応援大使」ののぼり旗を掲げるなど、鶴ヶ島市の知名度向上とイメージアップに大きく貢献してくれています。

◀ふるさと応援大使「鶴」の3人。
写真左から、笠井“どん”快樹さん、
秋野温さん、神田雄一朗さん



鶴ヶ島市出身 ^{やまざきあきひろ}山崎晃裕選手が 東京2020パラリンピックで第7位!

山崎晃裕選手が、8月30日に行われた東京パラリンピック・パラ陸上やり投げF46クラスに出場し、第7位となりました！
鶴ヶ島市出身の山崎選手は、パラ陸上同クラスの日本記録保持者で、これまでも世界で活躍してきました。
東京パラリンピックを機に、さらに大きく飛躍されることを期待しています！



市制施行30周年記念



ロゴマーク& キャッチフレーズ 決定しました!

TSURUGASHIMA
市制施行30周年

ロゴマークは、デザイナーとしても活躍する、ふるさと応援大使「鶴」の神田さんにデザインをお願いしました。シンプルかつスタイリッシュなデザインの中に、鶴ヶ島の「T」、「30」、「鶴」のイメージが入っています。
キャッチフレーズは、市内在住の長井美由紀さんの「大好き、つるがしま」が選ばれました。「これからもたくさんの人に『大好き』になってもらえる鶴ヶ島であってほしい。」という長井さんの温かい想いが込められています。



記念グッズを作成しました!

市の若手職員が実行委員会をつくり、ふるさと応援大使「鶴」の神田さんとのコラボレーションが実現しました。
作成したのは、エコバッグとキャンバストートの2種類。
神田さんデザインのロゴマークはもちろん、未来に向かって大きく羽ばたく想いを込めたデザインとなっています。